

2025 年度 桐門の翼奨学金試験 出題意図

1 試験日

2025 年 1 月 31 日 桐門の翼奨学金試験

2 科目 英語

3 出題意図

英語試験、は I~IV の 4 つの主要セクションから構成され、合計 40 問あり、各問には 5 つの選択肢があります。受験者は各設問について最も適切な選択肢を選ぶことが求められます。各セクションの概要は以下の通りです。

I. 長文読解セクションは、約 600 語の文章で構成され、12 問の読解問題があります。これらの問題は文章全体の理解だけでなく、登場人物同士間の関係、場所、時系列、行動、結果といった具体的な関係性の理解も問うものです。設問は本文の内容を超える知識を要求するものではありませんが、国籍や社会的背景に関わらず高校生であれば備えているべき基本的な数的理解計算力および現実世界の出来事への理解を前提としています。目的は、物語文を読む力と理解力を測ることです。

II. 対話セクションは、約 400 語の会話文で構成され、8 問の読解問題があります。これらの問題は、登場人物 2 人の会話内容の全体的理解だけでなく、2 人の関係性、他の人物や出来事とのつながり、会話の文脈理解も問います。2 問以上は空所補充問題が含まれる可能性があり、会話の文脈に基づいて、それぞれの場面で最も自然に使われる表現を、会話の文脈に基づいて理解することが求められます。目的は、会話の要点を把握する力と、自然な口語英語の理解力を測ることです。

III. 語彙セクションは問 1 と問 2 で構成されています。問 1 では、各設問に空所のある 2 つの文が示され、異なる用法や意味を持ちながら両方の文の意味に最も適切に当てはまる共通の語彙を選びます。なお、それらの語彙は異なる用法や意味を持ちます。問 2 では、各設問に 1 つの空所があり、文全体の意味に最も適切な語彙を選択します。目的は、語彙の知識だけでなく、さまざまな文型や文脈における適切な語彙の運用能力を測ることです。

IV. 文法セクションは 10 問で構成され、各問に 1 つの空所があり、受験者は最も適切な文法項目を選びます。目的は、文法形式や文法事項の知識だけでなく、さまざまな文型や文脈における適切な運用能力を測ることです。

以上